



2022年8月9日

各 位

会 社 名      O A T ア グ リ オ 株 式 会 社  
代 表 者 名    代 表 取 締 役 社 長      岡      尚  
                  (コード:4979、東証プライム市場)  
問 合 せ 先    取 締 役  総 務 部 部 長   高 瀬  尋 樹  
  (TEL. 03-5283-0262)

### 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月11日に公表いたしました2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期連結業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 24,700	百万円 2,509	百万円 2,488	百万円 1,631	円 銭 154.73
今回修正予想(B)	25,400	3,100	3,200	2,110	199.96
増減額(B-A)	700	590	711	478	—
増減率(%)	2.8	23.5	28.6	29.4	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	22,657	1,982	1,969	1,443	134.16

#### 修正の理由

2022年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、国内市場では当社が注力しているグリーンプログダクツの殺ダニ剤「アカリタッチ」「サフオイル」、殺菌剤「カリグリーン」が好調に推移し、また、主力製品である殺虫剤「ハチハチ」「オリオン」、殺ダニ剤「ダニサラバ」、殺菌剤「ショウチノスケ」も販売が順調に推移いたしました。海外市場におきましては北米向け殺ダニ剤「ダニサラバ」や南米向け殺虫剤「オンコル」、殺ダニ剤「ダニサラバ」の販売が順調に推移し、また、グループ各社においてバイオスティミュラント剤「アトニック」の販売も好調に推移いたしました。さらに海外関連会社におきましても、Post-Harvest 関連製品に強みを持つオランダのBlue Wave Holding B.V. やバイオスティミュラントの開発、製造及び販売を手掛けるスペインのLIDA Plant Research, S.L.などが売上を大きく伸ばさせました。その結果、売上・利益ともに前年実績を大幅に上回りました。



通期の連結業績につきましても販売が順調に推移する見込みであること、また、海外売上高比率が約70%であり円安による大幅な業績へのプラス影響が見込まれるため、前回予想を上回る見込みであります

## 2. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月11日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
今回修正予想	—	—	—	40.00	40.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2021年12月期)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 当社は、2022年1月14日開催の取締役会において、2022年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。2021年12月期につきましては当該株式分割前の実際の配当金の金額、2022年12月期の配当予想につきましては株式分割を考慮した金額を記載しております。

### 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえ、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。今回、2022年12月期通期連結業績予想の見直しに伴い、2022年12月期末の配当予想を10円00銭増額し、1株当たり40円00銭に修正いたします。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績値は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上